



大泉橋戸公園水田で田植え体験！

～「橋戸田んぼ」の風景を復元した水田で小学生が稲作体験～

と き	平成 27 年 6 月 10 日 (水) 午前 9 時 45 分～11 時 大泉北小学校
	平成 27 年 6 月 13 日 (土) 午前 8 時 40 分～9 時 40 分 橋戸小学校
	平成 27 年 6 月 13 日 (土) 午前 11 時～12 時 大泉第一小学校
と ころ	練馬区立大泉橋戸公園 (練馬区大泉町 2-9-34)

10日(水)、13日(土)の2日間、練馬区立大泉橋戸公園(練馬区大泉町2丁目)内の水田で、周辺の小学校3校の児童が田植えを体験した。

水田は、周辺の小学校や地域団体から、地域の風景の復元という強い要望を受けて平成24年に区が整備し「橋戸田んぼ」として親しまれている。管理運営は、地域の「橋戸水田自主管理会」が主体となり行っている。開園以来、毎年、周辺の小学校3校の児童が稲作を体験してきた。



【田植えの様子】

当日は、管理会があらかじめ園芸用ポットで育てておいた苗を、児童が田んぼに入って手で植えていく。「苗が倒れないようにしっかり押し込んで植えてね」「足が抜けなくなったら、かかとやつまさきを持ち上げると抜けるよ」など、管理会の方々からアドバイスを受けながら、児童は慣れない泥の中での作業に奮闘した。田んぼから上がった児童からは、「不思議な感じで意外に気持ちよかった」「もう一回やりたい」と笑顔がこぼれた。秋には稲刈り体験も行い、収穫したお米を味わう予定。

【橋戸田んぼの稲作風景を小学生が再現！】

練馬区立大泉橋戸公園の「田んぼ」は、園内に残る弁天池の湧水を活用し、かつて白子川流域で行われていた水田を復元整備したもの。水田面積は230㎡で6枚の田んぼに分かれている。平成24年度から、周辺の大泉第一小学校、大泉北小学校、橋戸小学校の児童が毎年稲作体験を行ってきた。今年は10日に大泉北小学校106人、13日に橋戸小学校80人、大泉第一小学校57人(いずれも5年生)の児童が田植えを行った。

児童は靴下で田んぼに入り、苗が一行に並ぶよう目印に沿って植えていく。泥に足を踏み入れ「予想よりやわらかい」「こけそう」と動揺していた子どもたちも、田んぼから上がる頃には「面白い体験ができた」「もう一回やりたい」と目を輝かせ、全員が体験し終わった後に、2回3回と挑戦する児童も見られた。様子を見に来た保護者は、「実際に田んぼに入る経験ができてうらやましい。毎日食べるお米のありがたみを感じられるいい機会ですね」と話した。



【田起こし】

【橋戸水田自主管理会とは】

同会は、大泉町近隣の三校(大泉第一小学校、大泉北小学校、橋戸小学校)の児童に米作りの体験を通じ学校間の交流と地域コミュニティの醸成に寄与することを目的として、平成24年に結成された組織。児童への田植え体験指導をはじめ、除草や水量調整といった水田の全般的な維持管理を行っている。「橋戸の田んぼのことを子どもたちに少しでも知ってもらえれば」との思いで、種まきや田起こし、代かきを実施し、田植え体験に向けて準備を進めてきた。同会の会長は、「橋戸水田の歴史を知ってもらいたい。子どもたちのためにしているのが、何よりの楽しみです」と語り、児童が田植えをする様子を、目を細めて眺めていた。



【問い合わせ】

産業経済部 都市農業課 農業振興係 電話 03-5984-1403

【代かき】